

# かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2021年  
5月15日

No.204

表紙写真  
募集中

令和3年

3月定例会



## もくじ

- 2 令和3年度予算を議会がチェック！
- 5 全ての議案の議決結果
- 6 3月定例会での議案審議
- 9 8人の議員が一般質問
- 11 定例会の視点・論点
- 12 12月、1月 臨時議会
- 13 議員研修会を開催
- 14 令和2年の議会評価をお知らせします

ギカイを



見に行こう！

「春日市冒険」

撮影者 松川 香奈子さん

撮影場所 奴国の丘歴史公園

撮影者の紹介はP16へ

12月・1月に臨時会がありました

3月定例会では、議員全員による予算審査特別委員会(北田織委員長)を設置し、付託された3件の予算案件について5日間にわたり審査を行いました。



### 【付託議案】

- ・令和3年度一般会計予算
- ・令和3年度一般会計補正予算(第1号)
- ・令和3年度一般会計補正予算(第2号)

令和3年度の一般会計予算は

## 344億373万5千円

(対前年度比3.6%減)

※令和3年度一般会計補正予算(第1号)で7億5,481万6千円、令和3年度一般会計補正予算(第2号)で2,020万1千円が増額され、351億7,874万4千円となっています。



### 継続

通院医療費の助成対象を  
中学生まで拡大

## 3億9,797万円

	入院分	通院分
令和3年3月分まで	中学校3年生まで	小学校6年生まで
令和3年4月分から	中学校3年生まで	中学校3年生まで

### 新規

高齢者の保健事業と  
介護予防を一体的に実施

## 651万円

高齢者の心身に関する多様な課題に対応するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保険事業と一体的に実施する。



## 令和3年度の注目事業を紹介します!

### 新規 市制50周年記念事業

## 1,378万円

令和4年4月1日に市制50周年の節目を迎えるに当たり、令和3～4年度に市制50周年記念式典をはじめとする記念事業を実施する。令和3年度は、カウントダウンイベントおよび広報PR事業などを実施予定。

### 新規 成年後見制度 利用促進事業

## 861万円

高齢者の権利擁護についての包括的な相談対応や、成年後見人の支援などの機能を担保するための中核機関を、春日市社会福祉協議会に委託し設置する。

### 新規 子ども発達 支援室を設置

## 2,791万円

発達障がいの早期発見、相談、検査、経過観察、所属機関支援および保護者支援を強化し、教育委員会と福祉支援部との緊密な連携・協力体制を構築するため、令和3年度から、子育て世代包括支援センター内に「子ども発達支援室」を設置する。



### 新規 浸水ハザードマップを 改訂

## 639万円

直近10年の災害履歴に基づき、春日市浸水ハザードマップを最新の情報に改訂し、全戸配付を実施する。



### 継続 ICT支援員などを配置し ICT教育を推進

## 3,655万円

令和2年度に整備した、小中学生1人1台のタブレット型パソコンを効果的に活用した授業実施などを支援するため、ICT支援員の配置とICTヘルプデスクの設置をし、学校におけるICT教育を推進する。

### 新規 産婦健康 診査事業

## 900万円

産後うつ予防や新生児への虐待予防などを図るため、産後2週間および産後1カ月に受診する健康診査に係る費用を助成する。



### 採決にあたっての討論

#### 吉居 恭子 議員 **反対**

新型コロナの影響で市民生活は困難だが、市独自の抜本的な支援策がない。400万円を超す同和団体への補助金支出、ナイター設備も無いスポーツ施設に総額20億円をかける事業予算支出。少人数学級に先生増員の予算が無い。

#### 原 克巳 議員 **賛成**

本予算には、産後ケアなどの子育て支援策や医療的ケア児などのレスパイト事業、福祉と教育を連携させた発達支援室事業の創設など、市民生活の安定や質の向上に配慮し、住みよさを重視した重要な施策が盛り込まれている。

#### 米丸 貴浩 議員 **賛成**

子ども発達支援室の整備、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組みは、行政視察報告や執行部と同じ方向性を持って重ねてきた議論が予算化されたものである。その期待は大きく、新たな事業にも目配りした内容になっている。

#### 船久保 信昭 議員 **賛成**

市税の減収が見込まれるが、限られた財源の中で新規の子育て支援や高齢者支援の施策など幅広い層への支援を拡充し、また世代間負担の公平性と財政規律の確保に配慮された妥当な予算内容であるため、本議案に賛成する。



### 3月定例会 議決結果一覧

令和3年第1回(3月)定例会 件名	掲載ページ	議決結果	賛成	反対	公明党		翔春会		創政会		春風会		令桜会		春令会		春陽会		会派に所属しない議員	
					野口明美	岩切幹嘉	高橋裕子	原克巳	中原智昭	迫賢二	船久保信昭	米丸貴浩	川崎英彦	飯田浩昭	内野明浩	白水祥太郎	北田織	藤井俊雄	西村澄子	金堂清之
人権擁護委員の候補者の推薦(飯田浩昭氏)	7	同意	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦(松里裕三子氏)	7	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦(井上善宏氏)	7	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦(溝口一孝氏)	7	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員定数条例	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会条例	6	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例	7	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
都市公園条例	8	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 一般会計補正予算(第11号)	6	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 一般会計補正予算(第12号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 一般会計補正予算(第13号)	6	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 筑紫地区介護認定審査会事業特別会計補正予算(第2号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 下水道事業会計補正予算(第4号)	8	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 一般会計予算	2	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和3年度 国民健康保険事業特別会計予算	4	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 後期高齢者医療事業特別会計予算	4	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 介護保険事業特別会計予算	4	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和3年度 下水道事業会計予算	4	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 一般会計補正予算(第1号)	2	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 一般会計補正予算(第2号)	2	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得	-	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	8	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 予算審査特別委員会の設置	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※松尾徳晴議員(春陽会)は議長職のため、表決権はありません。 ※○は会派代表者 ※欠は欠席者 (○賛成 ●反対)  
※除は除斥(本人が対象となる議案のため)

市民厚生  
委員会

### 介護保険事業 特別会計予算



当初予算額 73億5,193万3千円  
対前年度比 +4億115万2千円 (+5.8%)

ポイント

令和2年度は、給付費の実績が見込額を下回ったことにより、介護給付費準備基金の取崩額が抑えられた。令和3年度予算は令和2年度実績を考慮したもので、基金取崩は微減で見込んでいる。

問

これまで以上に介護予防の役割は重要だと考えるが、自分に合った介護予防をできる体制づくりとして計画されている地域リハビリテーション活動支援事業は、これまでの地域を拡大して実施されるのか。

答

基本的には第7期からの取り組みを継続する。介護予防と保健事業の一体的な取り組みの中で、改善できる部分は改善しながら進めていく。



市民厚生  
委員会

### 後期高齢者 医療事業特別会計予算

当初予算額 15億498万9千円  
対前年度比 +5,901万9千円 (+4.1%)

ポイント

保険基盤安定負担金、保険料負担金、事務費負担金の増額により、広域連合納付金は増となる。

地域建設  
委員会

### 下水道事業会計予算



収益的収入 23億5,931万8千円  
収益的支出 18億4,845万4千円  
資本的収入 11億 631万2千円  
資本的支出 21億 572万3千円

市民厚生  
委員会

### 国民健康保険事業 特別会計予算



当初予算額 96億4,546万円  
対前年度比 △1億9,025万2千円 (△1.9%)

ポイント

新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどを反映した推計方法を県が採用したことや支払基金が県に交付する前期高齢者交付金の増加により、一人当たり納付金額は減少した。令和3年度事業費納付金が令和2年度から減少し、また支払準備基金残高が一定程度あり、令和3年度の税率改定は見送ることになった。

問

歳入は、税率を上げない事が大切である。県支出金のうち、特別交付金を増やすべきである。そのためには保健事業の取り組みと成果にかかってくると思うが。

答

歳入増には、大きく2つあり、税率改定と収納率の向上、また、交付金の増加である。交付金の増は、保健事業の取り組みが重要であり、健康推進部として一体的に取り組んでいきたい。



[令和3年度の主要な事業]  
・污水管路点検業務 3,000万円  
・污水管路改築工事 1億円  
・雨水管渠改築工事 2,200万円  
・小倉雨水幹線改良工事 6,000万円  
・小倉第3雨水貯留施設築造工事 5億3,510万円 など

# 特別会計・事業会計

付託された常任委員会において、各特別会計・事業会計の令和3年度当初予算に係る審査が行われました。

介護保険条例の一部改正

第1号被保険者(65歳以上の方)の介護保険料の額を改定



令和3年度から令和5年度までの間における介護保険給付などに対応するため、第1号被保険者の保険料の額を改定するとともに、介護保険法施行令の一部改正などに伴い、所要の規定の整備を図るもの。保険料の額は以下のとおりとなる。

(年額:円)

段階	対象者	標準に対する保険料率	現行	改定後
1	本人が市町村住民税非課税 世帯主課税	生活保護等 又は 本人年金等 80万円以下	34,800 軽減後 20,880	35,700 軽減後 21,420
2		本人年金等 80万円超120万円以下	46,980 軽減後 29,580	48,195 軽減後 30,345
3		本人年金等 120万円超	52,200 軽減後 48,720	53,550 軽減後 49,980
4	本人が市町村住民税非課税 世帯主課税	本人年金等 80万円以下	62,640	64,260
5		本人年金等 80万円超	69,600【基準額】(月額5,800)	71,400【基準額】(月額5,950)
6	本人が市町村住民税課税	所得 125万円未満	75,168	77,112
7		所得 125万円以上 200万円未満	86,304	88,536
8		所得 200万円以上 300万円未満	98,832	101,388
9		所得 300万円以上 400万円未満	111,360	114,240
10		所得 400万円以上 500万円未満	123,888	127,092
11		所得 500万円以上 700万円未満	136,416	139,944
12		所得 700万円以上 1,000万円未満	149,640	153,510
13	所得 1,000万円以上	164,256	168,504	



ポイント

- ①基準となる第5段階においては、上昇率が2.6パーセント(月額150円)に抑制されている(前回3年前の改定時は3.6パーセントの上昇)。
- ②消費税引上げ財源による国・県・市の公費投入で、第1段階から第3段階までは引き続き軽減強化が図られている。

吉居 恭子 議員 **反対**

介護保険制度開始時の第1号被保険者の保険料基準額、月額2,828円は、今度の改定で2倍以上の年額7万1,400円となる。高齢者の3人に2人は住民税非課税という状況で、料金の引上げを行うべきではない。

船久保 信昭 議員 **賛成**

高齢者数および要介護等認定者数の増加が予想される今、その生活を支える介護保険サービスを含む社会資源の整備を進めるため応分の負担が必要である。また今後に急激な保険料の負担増とならないためにも、本議案に賛成する。

本会議での各討論はこちら



人権擁護委員を推薦



人権擁護委員

任期は令和3年7月1日から3年間

飯田 浩昭 氏(2期目) 井上 善宏 氏(1期目)  
松里裕三子 氏(2期目) 溝口 一孝 氏(1期目)

【人権擁護委員】とは

家庭内や隣近所のトラブル、いじめや差別など、さまざまな人権問題や悩みごとの相談に応じる。全国には14,000人、本市では9人が法務大臣から委嘱され活動している。

固定資産評価審査委員会条例の一部改正

固定資産の価格に係る不服審査の手續の利便性向上を図るため審査申出書への押印を不要とするもの



問 押印廃止の手續はこれで完了か。

答 条例についてはこれで完了する。規則や要綱などについては年度末に特例規則の制定により一括して廃止する予定である。

令和2年度一般会計補正予算(第11号)

■補正額 3億7,332万7千円増 ■歳入歳出総額 502億3,619万2千円

防犯カメラ設置に係る補助金 執行残で40万円減額



問 1自治会10万円です十分か。

答 機材の性能や使用条件によって価格に幅があるが、一部条件を満たせば県からの補助もある。

委員から「より使いやすい制度にしてほしい」との意見が出されました。



学校保健事業に係る事業費を増額(国庫補助金)

小学校分1,800万円・中学校分920万円

問 学校の規模に応じて国庫補助金が交付されたが十分か。

答 学校現場から感染症対策備品を充実させることができ大変助かっていると聞いている。



令和2年度一般会計補正予算(第13号)

■補正額 1,345万2千円増 ■歳入歳出総額 503億1,951万4千円

福岡県知事選挙に係る費用を増額(県知事選挙委託金) 937万3千円



問 様々な要因により投票率の低下が予想されるがその対策は考えているのか。

答 市報などで情報提供し投票率向上に向けた啓発をしていきたい。

問 コロナ対策として投票所が三密にならないよう期日前投票を推奨するべきと考えるがどうか。

答 入場券送付の際に期日前投票所の場所変更の案内を同封するなど情報提供をしていきたい。



今回の選挙から、期日前投票所の場所が「大会議棟1階 中会議室」に変更になりました。場所は、売店(ふれあいショップはるひ)の横です。



予算を議会がチェック!

特別会計・事業会計 議決結果

議案審議

議案審議 一般質問

一般質問 定例会の視点・論点


春日市議会臨時会 議員研修会

議会評価

分野	質問項目	通告順	議員名		掲載ページ
豊かな市民生活	地球温暖化対策に関する本市の取り組みについて	1	原 克巳	回数制	9
安心な健康福祉	結婚支援策について	2	川崎 英彦	時間制	9
	新型コロナウイルス感染症から市民の命と生活を守る施策について	3	吉居 恭子	時間制	10
	新型コロナウイルスワクチン接種事業について	5	西川 文代	時間制	10
	孤独や孤立に寄り添う支援について	6	高橋 裕子	回数制	10
	新型コロナウイルスワクチン接種事業について	8	岩切 幹嘉	回数制	10
活力あふれる教育文化・スポーツ	西野球場などスポーツ施設整備計画について	2	川崎 英彦	時間制	-
	コロナ禍におけるスポーツ活動について	4	西村 澄子	時間制	11
	シティズンシップ教育推進について	5	西川 文代	時間制	-
快適な都市整備	木造戸建て住宅耐震改修事業について	5	西川 文代	時間制	-
	災害対策について	7	野口 明美	回数制	11
行政改革	行政における電子決済について	2	川崎 英彦	時間制	-
	市バスの廃止について	5	西川 文代	時間制	10

## 3月定例会 一般質問


8人の議員が市政に対する  
質問を行いました

いつでもどこでも  
QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、Youtubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。

※春日市の一般質問は、  
・「回数制」は3回まで質問ができます。令和3年3月定例会から、答弁も含め60分以内に終わらせるよう努めています。  
・「時間制」は議員が質問できる時間(持ち時間)は40分です。40分以内であれば、何度でも質問ができます。  
※議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

健康福祉


### 少子化対策としての結婚支援策は



かわさき ひでひこ  
川崎 英彦 議員

**問** 日本の出生数は1975年に200万人を割り込み、2020年推計は84万人。結婚に踏み切れない理由を結婚資金と回答した男性は43.3%、女性41.9%。国は、少子化対策である結婚新生活支援補助金を30万円から60万円へ倍増する計画を発表した。結婚支援補助金事業取り組みの見解は。


**答** 家賃や引っ越し費用の一時的な補助が結婚や少子化対策につながるのか、今後も研究が必要。まずは、子育てしやすい環境の整備、子育て支援施策などのさらなる充実に取り組んでいきたい。



令和3年度に改正される結婚新生活支援事業

市民生活

### 地球温暖化防止に関する本市の取り組みについて




はら かつみ  
原 克巳 議員

**問** 脱炭素社会および循環型社会の構築に向け、今後どのように取り組むのか。

**答** 春日市地球温暖化対策実行計画の下、二酸化炭素排出量を削減するため、ごみの減量や食品ロス削減、省エネ行動の啓発、自然エネルギーの利用促進など、地域や民間団体、大学などと連携して進めていく。

**問** ゼロカーボンシティを表明する考えはあるか。



**答** 新たな春日市環境基本計画の目標年度である2030年度に向け、様々な施策に取り組みながら、その中で検討する。



全ての議案はこちら⇒

都市公園条例の一部改正

### 所要の規定の整備を図る



主に、以下の2点について、所要の規定の整備を図るもの  
・上白水緑地の廃止および開発行為により市に帰属した施設を小倉第2緑地として適正な管理を図ること  
・白水大池公園管理棟会議室を有料公園施設と位置付けること

**問** 上白水緑地の廃止に関し、土地の境界はどうか。

**答** 隣接地との境界は法面の途中部分となる。売却の際は、<sup>のりめん</sup>問題が起きないように重要事項などの説明を行いたい。

令和2年度下水道事業会計補正予算(第4号)

- 収益的収入** 23億5,345万5千円  
(県の流域下水道維持管理負担剰余金の返還などにより、2,685万2千円増額)
- 収益的支出** 19億5,232万5千円  
(年間有収水量が増加見込みのため、流域下水道維持管理負担金の増額などにより、2,772万円増額)
- 資本的収入** 6億1,436万6千円  
(事業費の増加に伴う国庫補助金の増額などにより6,700万円増額)
- 資本的支出** 15億8,160万6千円  
(汚水管路改築工事および小倉第1雨水幹線改良工事などにより、6,696万7千円増額)

**問** 小倉第1雨水幹線改良工事は、川底の掘り下げを行っていないが川の流れに問題はないのか。

**答** 流速を速くするパネルを貼る工法を行っており、貼ることで、降雨時に水位が下がっていることを現地で確認している。

- ・収益的収支(収入・支出)：事業年度の企業の経営活動に伴い発生が予定される(下水道料金など)すべての収益とそれに対するすべての費用
- ・資本的収支(収入・支出)：将来の経営活動に備えて行う建設改良およびそれに係る企業債償還金の支出とその財源となる収入(支出の効果が翌事業年度以降に及び、将来の収益に対応するもの)
- ・有収水量：使用料の対象となる水量



市道路線の認定

### 市道路線を認定するに当たり、市議会の議決を求められたもの



【認定路線】第1416号路線

起 点	終 点
春日市日の出町5丁目12番9先	春日市日の出町5丁目12番5先

都市整備

### 要支援者の避難に向けた取り組みは



のぐち あけみ  
野口 明美 議員



**問** 人工呼吸器装着者の個別避難計画に関するマニュアルの完成は。

**答** 令和3年度中の完成に向けて支援体制の在り方の検討やマニュアル案の編集を行っている。

**問** 人工呼吸器のための自家発電機やバッテリーなどを補助対象とする検討の進捗は。

**答** 令和3年1月から身体障害者手帳の交付を受けている人、難病患者などで人工呼吸器、電気式たん吸入器を使用している人を対象に障害者等日常生活用具給付事業の中で購入補助ができるように見直した。



教育・文化・スポーツ

### コロナ禍におけるスポーツ活動について



にしむら すみこ  
西村 澄子 議員



**問** コロナ禍の中、各スポーツ団体からの要望は。

**答** 特段のご要望はない。市民の健康、命を守ることを第一義としてご理解いただいている。

**問** 健康二次被害も懸念し、第4波に対し施策は。

**答** コロナ禍で高まった健康志向を活かし、感染防止対策を講じた実践を例示する。

**問** 中学生の部活動の現状と進路は。

**答** 各学校で出来る限りの開催をされ、進路においても実績を基に例年通り進んでいる。



健康福祉

行財政改革

### 市バス廃止の代替措置とワクチンの周知は



にしかわ ふみよ  
西川 文代 議員



**問** 市民団体の人材育成について重要な活動の一端を担ってきた市バスの廃止に伴う代替の対応は当然あるべきと考える。その詳細は。

**答** 自治会はまちづくり交付金増額、シニアクラブは連合会補助金新設、その他団体は、市が主催および共催できる事業についてバスの借り上げ費用を予算措置する。利用団体からの個別のお尋ねには各所管が丁寧に対応する。



**問** ワクチン接種は最終的に自己判断を確実に伝える対応は。

**答** 予診票で確認、お知らせや市報で周知する。

健康福祉

### 新型コロナから市民の命と生活を守る施策は



よし いきょうこ  
吉居 恭子 議員



**問** コロナ支援策の周知に加え、気軽に相談できる常設のコロナ対応総合窓口を作っては。

**答** 相談窓口は、総務部総務課に一本化している。

**問** コロナ禍での独居高齢者の安否確認と必要な生活支援について、市の考えはどうか。

**答** 安否確認は、地域の支え合い活動や、電気、ガスなど事業者の協力も得、みまもりホットラインなど取り組みを推進。生活支援は、介護福祉サービスやNPO、民間企業などによるサービスを、必要な人が利用できるように支援している。



全13項目の一覧は9ページへ

今定例会の一般質問は8人です

令和3年第1回春日市議会

## 3月定例会の

## 視点・論点

### 一般質問について

一般質問は、春日市議会会議規則第62条において、市の一般事務にかかる質問に限られているが、一部事務組合の事務に踏み込む質問がなされた。また、この質問における議員の理解に対して執行部から反問権が行使された。この反問は春日市議会における反問権の定義を超えた内容であったと思われる。今後、一部事務組合の事務に関する質問の禁止を徹底し、反問権について

はその範囲など改めて検討し整理・確認する必要がある。

今回、回数制の質問で答弁時間を含め概ね60分の時間制限を設けた(時間制の質問は質問時間のみで40分)が、これを超えた質問がなされた。回数制の質問者は、答弁時間を考慮した時間配分を心掛けなければならない。

今回の一般質問の質問者は8名であった。一般質問は議員の権利であるので、市民の思いが市政へ反映されるよう、この権利を最大限に行使していきたい。

令和2年

12月18日

第5回

# 春日市議会臨時会

□令和2年度春日市一般会計補正予算(第9号)について

■補正額 8,720万4千円増 ■歳入歳出総額 498億299万1千円



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ひとり親世帯臨時特別給付金の再支給を実施するため。

**問** 再支給の予定は。

**答** 1回目の給付金を既に受けた世帯に対しては、年内を目途に実施予定。

**問** 周知の方法は。

**答** 前回の対象世帯に対し通知文書を送付、また、チラシ・ポスター・ウェブなどの広報の徹底、自治会、母子寡婦福祉会への連絡など、考えられるすべての方法を尽くして周知に努力したい。

議案の内容はこちら	議決結果	賛成	反対	議席																	
				野口明美	岩切幹嘉	高橋裕子	原克巳	中原智二	迫賢二	船久保信昭	米丸貴浩	川崎英彦	飯田浩昭	内野明浩	白水祥太郎	北田織	藤井俊雄	西村澄子	金堂清之	岩淵穰	吉居恭子
令和2年第5回臨時会 件名	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※松尾徳晴議員(春陽会)は議長職のため、表決権はありません。 ※○は会派代表者 (○賛成 ●反対)

令和3年

1月27日

第1回

# 春日市議会臨時会

□令和2年度春日市一般会計補正予算(第10号)について

■補正額 5,987万4千円増 ■歳入歳出総額 498億6,286万5千円



新型コロナウイルスワクチン接種事業や、新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した介護保険サービス事業所の消毒に係る経費の補助など。

**問** ワクチン接種業務で、保健衛生費国庫負担金の上限額を超え予算不足が生じた場合、市費で負担することはあり得るか。

**答** 全額国庫負担となっているが、今後国の動きを確認していく。

**問** マイナポイント延長などでマイナンバーカードの発行枚数はどの程度を見込んでいるか。また、人員は十分か。

**答** 月当たり最大2,500枚を見込み、窓口専門員10人、補助員3人の計13人で交付体制を整備する。

議案の内容はこちら	議決結果	賛成	反対	議席																	
				野口明美	岩切幹嘉	高橋裕子	原克巳	中原智二	迫賢二	船久保信昭	米丸貴浩	川崎英彦	飯田浩昭	内野明浩	白水祥太郎	北田織	藤井俊雄	西村澄子	金堂清之	岩淵穰	吉居恭子
令和3年第1回臨時会 件名	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※松尾徳晴議員(春陽会)は議長職のため、表決権はありません。 ※○は会派代表者 (○賛成 ●反対)



議員研修会の様子



木下敏之先生

東京一極集中から地方への人の流れをつくるために、コロナを利用した是正が必要です。そのためには、5Gに対応したリモートワークができる住宅環境作りをしなければなりません。また、なぜ若者が結婚しないのかという地域ごとに即した本質的な調査分析と出合いの場が少ないことについて行政側からの支援対策も必要です。その他にこれから団塊のジュニア世代として増えてくる50代、60代への雇用対策の取り組みなど、今後多様化する住民ニーズに、どう応えていくべきかのヒントとなる議員研修会でした。

3月30日、元佐賀市長で現福岡大学経済学部教授の木下敏之先生をお迎えして、議員研修会を開催しました。テーマは「コロナを利用した地域振興」。

## 木下敏之先生をお迎えして「議員研修会」を開催

### 議席、会派および議会運営委員会委員の変更

会派の、解散・変更などにより、3月定例会最終日において、議席が以下のとおりになりました。また、4月1日以降、議会運営委員会委員が変更になりました。

【委員長】中原智昭議員 【副委員長】西村澄子議員  
【委員】北田織議員、野口明美議員、米丸貴浩議員、原克巳議員、岩淵穰議員

議場案内													
事務局	事務局	議事課長	監査委員	選挙管理委員会委員長	教育部長	教育長	議会事務局長	松尾徳晴議長	地域生活部長	市民部長	健康推進部長	福祉支援部長	都市整備部長
演壇							市長	副市長	経営企画部長	総務部長	質問席		
4番	3番	10番	9番	8番	7番	2番	1番	6番	5番	12番	11番		
飯田浩昭	白水祥太郎	米丸貴浩	川崎英彦	迫賢二	松尾徳晴	西川文代	吉居恭子	内野明浩	岩淵穰	原克巳	岩切幹嘉		
1期 創政会	創政会 1期	3期 創政会	創政会 2期	2期 翔春会	会派に所属しない 3期	2期 会派に所属しない	会派に所属しない 2期	2期 春陽会	春陽会 2期	1期 公明党	公明党 6期		
20番	19番	18番	17番	16番	15番	14番	13番						
北田織	藤井俊雄	西村澄子	金堂清之	中原智昭	船久保信昭	野口明美	高橋裕子						
4期 令桜会	令桜会 4期	1期 春令会	春令会 7期	3期 翔春会	翔春会 1期	5期 公明党	公明党 3期						

傍聴席(一般席72席・車椅子席4席・親子席4席)  
ただし、新型コロナウイルス感染対策として、傍聴席数の制限を行っています。 令和3年4月1日現在

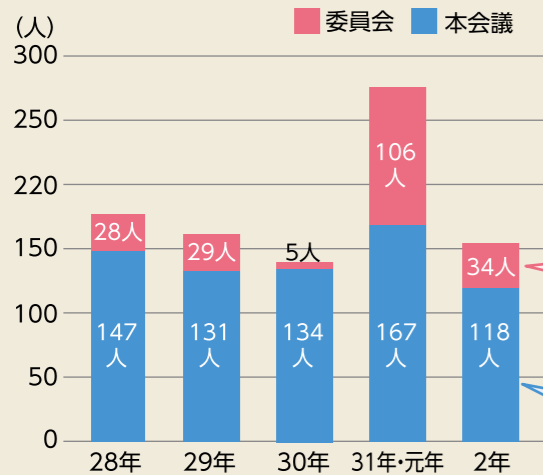
# 議会評価表

評価項目	進捗状況	評価		今後の取り組み
		達成度	方向性	
議会評価	議会評価の公表	○	拡充	議会評価については議会だよりやウェブサイトにより公開しており、公表は一定の水準に達している。今後は、モニター制度や学識経験者など外部評価の導入について検討していく。
情報公開 および 市民参加	会議の公開	△	拡充	新型コロナ禍により市民に傍聴の自粛を求める事態になった。今後、インターネットによる会議のライブ配信など会議の公開の手法について検討していく。
	議員の 賛否の公開	○	継続	本会議における賛否は、議会だよりやウェブサイトで公開している。本会議や委員会での賛否に至る経緯が正確に市民に伝わるよう、他の媒体の活用を含め、手法について引き続き研究を行う。
	会議録・委員会 記録の公開	○	継続	会議録・委員会記録の公開はウェブサイトにより確実にしている。今後、フェイスブックなどのあらゆる媒体を活用し、市民への周知に努める。
	公聴会および 参考人制度の活用	○	継続	参考人招致は委員会に定着しつつある。公聴会の開催はないが、必要時にいつでも開催できるよう、要綱の整備をする必要がある。
議会 報告会	報告会の充実	—	改善	新型コロナ禍により報告会の中止を余儀なくされた。これを契機に、インターネットを活用したオンライン報告会の実施など、研究を行う。
	報告内容の充実	—	改善	参加者の層を広げるため、インターネットを活用した報告会の実施においては、より利用が見込める若年層が興味を持てる内容を検討する。
議員の 政策立案 能力など の向上	意見交換の充実	—	継続	意見交換の手法について検討はしたが、コロナ禍により報告会の中止を余儀なくされた。これを契機に、インターネットを活用したオンラインによる意見交換など、更に研究を行う。
	政務活動費の 有効活用	○	継続	時代に対応した調査研究を行なえるよう、使途基準の見直しを行った。令和3年度から議会活動のICT化が加速する予定である。政務活動もこれに対応していく必要がある。
事務局 体制の 充実	議員研修の実施	○	拡充	2月に専門家の外部講師を招き議員研修を実施した。このような研修を、今後も継続的に実施していく。また、リモート研修も研究していく。
	議場・委員会室など の整備充実	△	改善	一般質問においてフリップの活用が進んだが、モニターで映像の確認がしづらい。また、質問席が狭く資料が置きづらいなど、ハード・ソフト両面での課題がある。
	事務局の機能強化	○	拡充	議会活動の向上に、事務局体制の充実は欠かせない。職員定数の確保とICT化により、業務効率の向上を図る必要がある。

※評価の達成度は3段階(○△×)  
 ○:概ね一定の水準にある  
 △:一部水準に達していない  
 ×:目的が達成できていないため取り組みが必要

※評価の方法性は3段階(継続・拡充・改善)  
 継続:手法・内容などの更なる充実を図り、引き続き取り組む  
 拡充:手法・内容などの見直し・拡充などを行い、取り組む  
 改善:手法・内容などを大幅に見直し、目標を目指し取り組む

## 傍聴者数 (H28年1月~R2年12月)



令和2年の委員会傍聴で一番多かったのは、6月18日市民厚生委員会の8人でした。

令和2年の本会議傍聴で一番多かったのは、6月定例会の52人でした。

# 令和2年の 議会評価をお知らせします



春日市議会  
基本条例



春日市議会  
評価実施要綱

春日市議会では、議会基本条例第5条に規定する市議会の評価を毎年3月に行っています(平成31年から)。令和3年3月に行った、令和2年の評価を公開します。

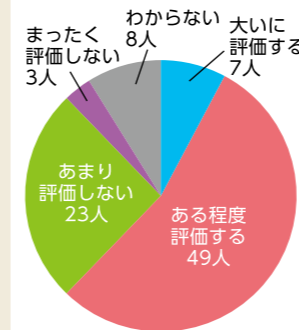
- 評価対象** 1月~12月における議会基本条例に基づく議会の活動
- 評価手順** 1年間の議会の活動や市議会アンケート結果(⇒下欄参照)などを踏まえ、評価項目ごとに達成度、方向性、今後の取り組みを議会運営委員会で協議し、決定します。
- 評価項目** ① 議会評価 ② 情報公開および市民参加 ③ 議会報告会 ④ 議員の政策立案能力等の向上 ⑤ 事務局体制の充実



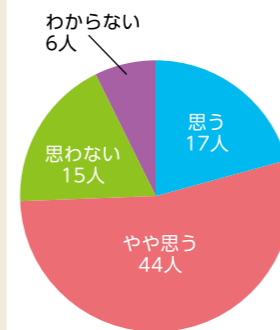
## 市議会アンケート結果(抜粋)

議会傍聴の際にお答えいただきました。

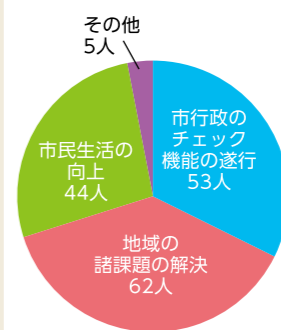
現在の市議会をどのように評価しますか。



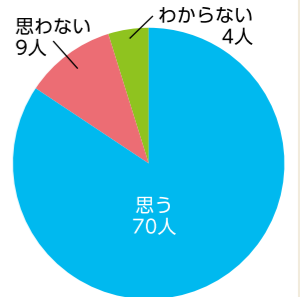
市民の声が市議会の活動に反映されていると思いますか。



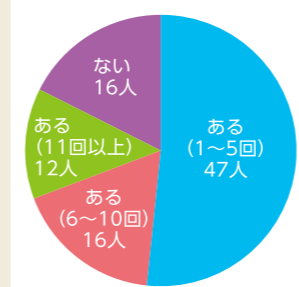
市議会にどのような活動を期待しますか。(複数回答可)



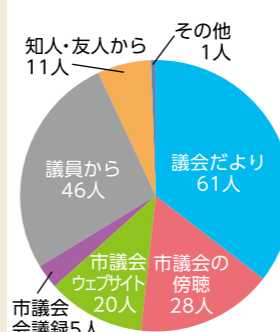
市民が議会に参加し、意見や要望を発言する機会が必要だと思いますか。



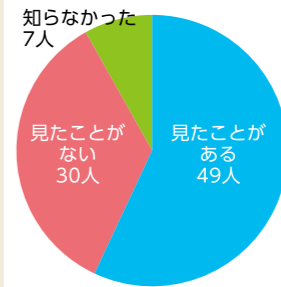
あなたは、議会を傍聴したことはありませんか。



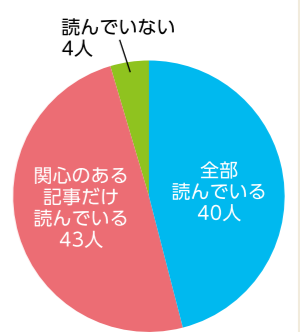
どのような方法で市議会の情報を得ていますか。(複数回答可)



春日市議会のケーブルテレビによる一般質問の生中継やYouTubeによる録画映像の配信を見ることがありますか。



議会だより(年4回発行)を読んでいますか。





# きかせて!あなたの声

市民の皆さんにお聞きします

vol.6



松川香奈子<sup>よしまさ</sup>さん・嘉政<sup>れいか</sup>さん・怜香<sup>れいか</sup>さん  
(弥生地区在住)

## この春から始めたいことは?

長男(表紙写真)が幼稚園に入園します。今までの生活から一変し、たくさんの経験をするようになりますが、そんな中で子どもが持つ才能の芽を見つけそれを伸ばしてあげたいね、といつも夫婦で話しています。家庭とは違う社会に一步出での集団生活では、色んな思いもすると思うので、帰って来た時にちゃんと話を聞いてあげたい、と考えています。

## 子育てをする上で春日市のここが好きと思うことは?

まちがコンパクトなので図書館などの公共施設に行きやすく助かっています。また、近くの親水公園に移動図書館が来ますし、児童センターの数も多く、近所に須玖児童センターもあり、よく利用しています。公園も多く緑が豊かで環境がいいと感じています。

## 春日市議会のここに期待します

子育て世代が春日市に引っ越すときに一番ネックになるのは保育所に入ることが難しいということだと不動産会社に聞きました。下の子は今1歳未満児ですし、これからもう一人欲しいとも考えますが、果たして預ける先があるのか、など不安を感じています。子どもが小さいと住居と職場と保育所が近いと大変ありがたいです。子育て世代が仕事と子育てを両立できるまちづくりを、子育て世代の声を聴いて進めていただけたらと思います。

## 会期日程 令和3年6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11 本会議 (提案説明)	12
13	14	15 本会議 議会運営委	16	17 常任委員会 (審査) 広報広聴委	18	19
20	21	22 本会議 (一般質問)	23	24 常任委員会 (採決)	25 議会運営委 常任委員会 広報広聴委	26
27	28 本会議 (採決)	29	30	1	2	3

※日程は都合により変更になることがあります。

**広報広聴委員会**  
委員長 米丸 貴浩  
副委員長 吉居 恭子  
委員 原 克巳  
委員 西村 澄子  
委員 西川 文代  
委員 白水祥太郎

今、世の中はますますデジタル社会。パソコンやインターネットがないと不自由を感じることも多くなりました。しかし、これらの情報通信技術につながることでできない方もまだおられます。このようなデジタルデバイス(格差)をどのように解消していくのか、これからの課題だと改めて感じた一日でした。

(原)

あなたの  
写真が  
表紙に!

次号205号  
令和3年8月15日発行  
6月18日  
メ切

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。

表紙応募方法の  
詳細は  
コチラ



## 編集後記

ある朝、自宅のインターネットが繋がっていないことに気がつきました。その日はオンラインでの研修が予定されていたため、焦りに焦り、回線機器を確認するなどバタバタしましたが、結局、予備の機器に交換して事なきを得ました。

かすが議会だよりへご意見をお寄せください